

リスニングと発音練習の両面で活躍するソフト

関西国際大学 教育学部英語教育学科
教授 有本純 様



GlobalvoiceCALL

GlobalvoiceCALL（以下、「Globalvoice」という）を様々な観点から試してみましたが、どのような語でも文でも、男声・女声で再生でき、しかもその聞こえ方は、従来のいかにも合成音というものとは比較にならない程、自然な肉声に聞こえます。

授業での活用法としては、テキスト・ファイルがあれば、それがリスニングのオリジナル・コンテンツとして作成できること、また発音が難しい語を取り出して聞かせることもでき、イントネーションの変化を画像として学習者に見せることにより、ピッチの上昇・下降が理解し易くなります。特に、聴き取りで日本人学生が難しいと感じる、いわゆる弱形の聴き取りにも対応しています。これは、ネイティブ・スピーカーの録音では何度も取り直しをした経験があり、リスニング教材として理想的な読みをしてもらうのに苦勞をしました。しかし、この Globalvoice を使えば、そのような苦勞や心配も不要です。

次に、学生が自分の発音についてその場で評価を知ることができるので、何をどう矯正すればよいのかが分かり、正面、側面の2種類の画像を見ながらリアルタイムでの発音学習が可能になります。いくらCALL教室を使用していても、教員はすべての学生の発音をチェックすることは物理的に難しいのですが、この Globalvoice を使用すれば、教員はモニターしながら必要に応じてアドバイスをする役割だけになり、多人数クラスであっても、発音指導のサポート役を十分にしてくれます。

また、発音指導では、これまで教員の耳に頼っていた判定を、この Globalvoice が代わって判定してくれますので、何度も聞き直して評価する必要がありません。最終評価を教員が行っても構いませんが、かなりの省力化につながるでしょう。今後は、「英語発音クリニック」の授業での導入を検討したいと考えています。

[2011.06.18]



関西国際大学

<http://www.kuins.ac.jp/>

